

新型インフルエンザ対策における個別の検討スケジュール（案）

資料3-3

➡ : 厚生労働省研究班における検討
 ➡ : 審議会等における検討、
 青字 : 厚生労働省、
 赤字 : 内閣官房
 ■ : 厚生労働省における対応

		2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	
抗インフルエンザ薬	備蓄目標	季節性との同時流行 (1,000万人分)	A型とB型の同時流行検討		研究結果を踏まえ、 有識者会議、 ガイドライン改正		
		予防投与 (300万人分)	予防投与における投与対象や範囲等についての研究				
		被害想定 (罹患者3,200万人分) ※入院患者200万人	デルファイ法という複数の有識者の見解を集計する推計方法により被害想定を研究				
	(効率的かつ安定的な備蓄のあり方)	備蓄薬	原薬	感染症部会等	購入について検討		
		新薬 (ゾフルーザ)	小委員会等	市販後の評価・効果の情報収集			
ワクチン	細胞培養事業		H5N1による生産体制整備完了	本事業の継続を支援する方策の検討			
	プレパン	備蓄株の変更 (H5N1→H7N9)	有識者会議、 ガイドライン改正	H7N9備蓄			
接種・医療体制	特定接種		変更申請受付	新規申請受付	新規・変更申請随時受付		
			実施要領作成				
	住民接種		実施要領作成	各自治体において体制整備・進捗確認。今後状況に応じて実施要領の改定を検討。			
	接種順位			有識者会議			
医療体制		感染症部会等	有識者会議、 ガイドライン改正	都道府県の整備状況公開	都道府県の整備状況の現状分析		
ケイミン	発症例の公表基準			公表基準作成			